

soiKURU

サイクル

SAIKURUとは

地域及び連携医療機関とのつながり（サークル、サイクル）を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

院内2室目の

新型Hybrid手術室完成

2018年4月、当院で2室目となる新型ハイブリッド手術室を稼動致しました。それに伴い、ドイツシーメンス社製の多軸透視・撮影システム、ロボティックアーム“ARTIS pheno（アーティスフィノ）”を西日本で初めて導入しました。この装置は次世代の血管撮影装置と位置付けられており、TAVIなどのハイブリッド手術に最適化されています。このような設備を備えることにより、最新の医療技術への対応が可能となります。更なる地域医療への貢献を目指して、より質の高い医療の提供に取り組んで参ります。

ARTIS pheno導入のポイント

患者安全

ハード面での性能向上はもちろん、回転範囲最大200°のアームがロボットのように機敏に上下し、3Dのような立体的な画像を撮影することができます。術中に様々な情報を取得することで、リアルタイムな手術支援による患者安全、手術の質の向上に繋がります。また、ケーブルレスな床置き式の装置であり、天井に走行レールが無いいため埃などが溜まらず、清潔な術野を保つことが可能です。

ハイブリッド手術の他診療領域への拡大

当院1室目のハイブリッド手術室は心血管領域のみで活用していましたが、ARTIS pheno導入により整形外科や脳外科など他領域へも拡大することが可能となりました。実際に様々な診療科で使用を開始しています。



▲新型X線透視撮影装置 ARTIS pheno と特殊手術台 MAGNUS



プロジェクトリーダー
副院長 兼 麻酔科部長
兼 TQM部長

原武 義和



▲4月5日にテープカットを執り行いました。

今回導入したシステムは、産業用ロボットを血管造影装置に組み込んだとてもユニークなものとなります。そのため精度も高く、外科系、内科系を問わず幅広い手技に利用可能です。新ハイブリッド手術室が、さらなる高度医療推進に寄与し地域医療に貢献できると信じています。

お知らせ

心臓血管センターの特設サイト開設

済生会熊本病院心臓血管センターは、開設して40有余年開設当初より循環器内科と心臓血管外科が協働して治療体制を築いて参りました。また昨今では、高度で複雑な医療を提供するために必要不可欠な多職種による「ハートチーム」を形成し、治療に当たっています。

今回、その取り組みや治療法などを紹介する心臓血管センター特設サイトをリリースいたしました。

済生会熊本 心臓血管センター

検索



URL » <http://sk-kumamoto.jp/cvc/>

